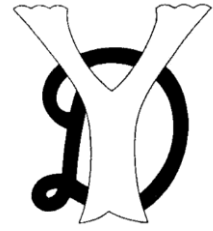


横浜市立

## ろう特別支援学校



令和4年度学校便り No. 8

ホームページ : <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/ss/ro/>

## ある雑誌から

一般小学校の教員をしている友人から紹介され、育児関連のある書物を購入しました。それは、福音館書店出版の『母の友』という月刊雑誌。1月号の特集は「伝えたいことば、伝わることば」。重度難聴者で難聴児のことばの力を育むサポートや保護者支援などを行っている『デフサポ』代表牧野友香子さんのインタビュー記事の他、ことばに関する話題満載で大変興味深く読ませていただきました。

牧野さんのインタビュー記事の中で、自身の経験から学んだこととして「不安や分からないことをため込んでから大きくドカンと伝えるのではなく、小さいことをちょこちょこ出していくこと。困ったときはその場面場面で毎回伝えること。」というコメントがあり、なるほど、と感心させられました。私たち教員としては、子どもたちに「ちょこちょこ」伝えてもらえるような関係性を築いておくことが大切なんだと改めて思いました。面白かったのは、「赤ちゃんことばには両唇音（マ・バ・パ行などの音）が多い。両唇音はかわいいの？」という編集者の質問に、「両唇音がかawaiiから赤ちゃんがかawaiiのではなくて、赤ちゃんがかawaiiから両唇音もかawaiiくて、その両唇音を使った音もかawaiiく聞こえるのかな？」と答えていたところ。皆さんは、どう思いますか？

国語辞書編集者飯間浩明さんのコラムには、「私たちは誰でも心の中に固有の辞書を持っている。その辞書に書いてあることは人によって違う。だから、自分の発したことばが、相手に意図通りに受け止められないという事態は日常的に起きる。」だから、「自分と相手とは失礼の感覚も違うし、意味の感覚も違う。あらかじめそう心得ておけば誤解も解消しやすい。」とありました。また、「ことばは人によって使い方が違うだけでなく、時代によっても変化する。形や意味、用法がどんどん変わる。」とも述べ、国語辞書の編纂の際、「このことばは間違いでは」「この言い方は失礼なのでは」といった私たちのことばに対する恐怖心に対して、「そんなに怖がらなくてもいいんだ、とゆったりした気持ちになってもらうよう配慮している。」と言っています。「ら抜きことば」についても間違いとは言わず、「気楽な話しことばなどであられる」と説明しているそうです。

音声学川原繁人さんのコラム『人ってどんなふうに言葉を覚えていくの?』には、「オノマトペ（擬音・擬態語）」が赤ちゃんの言語獲得を助けている、といった内容の記事が書かれていました。そして、2歳6か月の子のいわゆる「赤ちゃん用語」も紹介されていました。どれもこれも楽しい記事が満載、お得感のある雑誌でした。

飯間さんが編纂に携わっている辞書にある、いわゆる「若者用語」の紹介もありました。皆さん、分かりますか？

- ①アゲ ②とりま ③びえん ④エモい ⑤チル



答えは、①気分を高めること。「テンションーでいこう」②とりあえず、まあ。「一買ってきた。」③小声で泣きまねをするときのことば。④心が揺さぶられる感じた。⑤のんびりとくつろぐこと。「一しに行く」

私には、とても使いこなすことはできません…。

副校長 寄林 智

# 各部の便りから

ー各学部の取組を、学部便りやクラス便り等からピックアップして紹介しますー

## 乳幼児教育相談

2歳児のAさん。「最近は大暴がさらにひどく、自分の思い通りにならないと泣いてどうにかしようとしていました。目を合わせて手をとって〇〇はダメと一応説明して伝えています。」

同じく2歳児のBさん。「電車好きは良いが、自分の世界に入り込むとなかなか切り替えが難しい。見通しを持ってやるような声掛けをしたり、時間に余裕があるときは自分から切り替えられるまで待ってあげて、できた時におおいに褒めるようにしている。」皆さん工夫していますね。

一般的に2歳児は、イヤイヤしたり自己主張が強かったり（成長の証ですが）対応が大変です。子どもに伝わる手段（表情や手話、簡単な言葉やジェスチャーなど）を総動員して、その気持ちに寄り添いつつも言い聞かせていかななくてはなりません。普段から子どもの関心があることや、やって欲しがることなどを察して、伝わる手段をもつことが大切です。どうしても伝わらない、伝わっても受け入れてもらえないときは、別のことに気持ちを向けさせることも良いですね。

【乳幼児教育相談 「11月のお便り」より】

## 幼稚部

12月になった途端に冷え込むようになりました。先日帰りの会で12月になる話や、季節の話をする、「手袋とマフラーと上着を着る」という防寒具の話や、「雪だるまを作ったり雪でお家を作ったりしたい」という雪遊びの話や、「クリスマスが楽しみ」という行事の話をしてくれました。経験や話を繰り返す中で、季節の理解も深まってきていると感じます。寒いときならではの楽しみ（寒いから温かいものを食べると美味しい、寒いから布団に入ってくっつくなど）をぜひお子さんと一緒に探してみてください。

お店屋さんごっこの準備が進んでいます。今年度はお寿司屋さんとハンバーガー屋さんです。内遊びで料理ごっこで遊ぶのが好きなお子さんも多いので、実際にシャリにネタを乗せたり、ハンバーガーを作ったりしながら楽しく販売してくれるのではないかと思います。品物の名前はもちろんですが、お店屋さんになりきって丁寧な言葉遣いをしたり、「いらっしゃいませ」「少々お待ちください」などそのお店ならではの言い方や言葉（寿司屋では「へいおまち！」や『大将』といった言葉など）に触れてみたりするのも面白いと思います。言葉を正しい日本語や発音で話すことも大切ですが、相手と伝わり合ったりやりとりをしたということがとても大切です。時にはジェスチャーや指差しなども使いながら、お友達とやりとりをして楽しくお店屋さんごっこができればと思います。ご家庭でもぜひ、実際にお店に行ってみたり、ご家庭にあるおもちゃなどでお店屋さんごっこを試してみたりして、当日を楽しみに迎えられるようやりとりを試みましょう。



【幼稚部2年「ありさんつうしん」より】（毎回学年・クラスを変えて紹介します）

## 小学部

12月も行事や様々な活動が行われました。小高は、2日（金）には中高生と一緒にマラソン大会に参加し、三ツ沢競技場のグラウンドと外周2.2kmを走りました。初参加の4年生も5・6年と競り合って、力を発揮していました。陸上選手のように広い競技場を走り抜け、気持ちも高まりました。

小低は、なかよし会でルールのあるゲームを楽しみました。トランプ・ウノ・ジェンガなどグループで遊びたいものを話し合いで選んで決めました。ルールを教え合ったり、順番を決めたりと子どもたち同士でかかわるよい機会となりました。小高、小低それぞれ、異学年の友達と触れ合うよい機会となりました。

さて、いよいよ明日から冬休みです。今年は少しだけ長い冬休みになります。年末年始には様々な予定を計画されていることと思います。病気やけがに気を付けて、ご家族で楽しく過ごすことができるよう願っています。新年は、1月10日（火）（8時45分）から始まります。どうぞ良いお年をお迎えください。

【小学部だより」より】

## 中学部

### マラソン大会 高等部交流【12/2】

前の週から打って変わって、寒い中でのマラソン大会でした。最長で、男子が4.3km、女子が3.6kmの距離を、苦しさを乗り越えて全員が走り切ることができました。女子は1位から3位までが3秒以内という大接戦となりました。男子は2年生の速さが目立ちました。観客席からの声を出した応援はできませんでしたが、手を振ったり拍手をしたり、それぞれの方法で友達に熱いエールを送りました。

午後は、高等部の交流委員会が企画したレクを行いました。種目は、体育館でドッジボール、グラウンドでティーボールをしました。今年はそれぞれの希望の種目に参加という形にしたことで、プレーへの参加時間が増えました。午前中にマラソン大会があり疲れていたと思いますが、さすが中学生・高校生です。昼休みに体力も回復して、みんなはつらつプレーを見せていました。

### 学級委員会企画 リレー&ドロケイ【12/8】

この季節のお楽しみ、学級委員会企画のレクがありました。今年はリレーとドロケイでした。リレーは学級委員会でチームを4つ編成し、トーナメント形式で行いました。生徒たちが考えたチーム編成は、実力的にほぼ均等に。どのレースも接戦となりました。欠席者もいましたので、2周走る生徒もいる中で、池谷教諭が志願の参戦。激走でレースを盛り上げました。けががなくて、本当に良かったです。リレーが盛り上がりすぎて時間が少なくなってしまうしましたが、ドロケイも行いました。時間が短い分、警察が必死に追い、泥棒も必死に逃げる全力のドロケイでした。ブザーが鳴ると、座り込む生徒もいたほどでした。

【「中学部だより」より】

## 高等部

### 冬休みに向けて

もう少しで冬休みです。夏休みと比べると短い期間ですが、気を付けなければならないことは、「習慣」です。今年度は体調を崩す生徒が何名かいましたが、大きな病気や怪我もなく、無事に年末を迎えることができそうです。その中で、夜遅くまで起きていたことで、授業中に睡魔が襲ってくる生徒もいました。冬休みは年末年始といった特別なイベントがあります。冬休みを満喫することは結構ですが、生活リズムや食生活の乱れなどによって、健康に害が生じることがないように、自己管理をしてください。そして、適度な運動も心掛けてください。それが1つ目の「習慣」です。

2つ目の「習慣」は、社会参加・自立するための準備を行うことです。家族への挨拶はできていますか。掃除や洗濯、ゴミ分別の方法など、身の回りを清潔に保つ方法を知っていますか。自分で作れる調理はありますか。お金の管理はできていますか。自分のことは自分でやるという気持ちで過ごしてみてください。“やりたいことをして過ごす”だけではなく、“やらなければならないこと”にも取り組みましょう。

3つ目の「習慣」は、復習と予習です。進学を目指す人も就職・福祉就労を目指す人も、自分の可能性を広げるために、学習したことを振り返ることが大切です。予習や復習をしている人としていない人で、冬休み明けに大きな差が出ます。2月上旬に行われる期末試験でも顕著にあらわれることでしょう。進学を目指している人や進学が決まっている人は、現状に満足することなく(与えられた課題に取り組むだけではなく)、参考書や問題集などを使って自発的に取り組んでください。大学や専門学校は、高い授業料を払って専門的なことを学ぶ場であることを念頭に置いてください。

これら3つの「習慣」は、学校生活を通して自然と備わるものです。長期休暇は自分の自由な時間がたくさんある反面、3つの習慣を疎かにしてしまいがちです。その最大の原因が「スマホ」である事例がほとんどだといわれています。(ちなみに、2番目がマンガだそうです…。) スマホを見る時間を決める、スマホを家庭の人に預ける(スマホを離れた場所に置く方法も効果的)といった工夫をすることで改善できるそうです。

今年の漢字は「戦」。ウクライナ侵攻や北朝鮮のミサイル発射などの理由で決まりましたが、みなさんにとって新たな挑“戦”、自分自身に打ち克つための“戦”いにつながる、充実した冬休みになることを願っています。



【「高等部だより」より】

		1月の行事	PTA関係
9	月	成人の日	
10	火	下校時刻変更 幼:冬休み明け朝の集まり 小・中・高:全校朝会 中・高:書初め	
11	水	給食開始 冬休み作品展(~20日) 地震避難訓練(予備:18日) 小:下校時刻変更 高:願書受付(~12日)	PTA成人学級委員会
12	木	幼稚部:交流 小高:身体計測 小5:校外学習	
13	金	幼稚部:お正月遊び 小低:身体計測	
14	土		
15	日		
16	月	幼:手話勉強会 高:5時間授業、入学に関する教育相談(~20日)	市P連研修会
17	火	幼:交流、入学調査、内科検診 小:マリノスサッカー教室	
18	水	幼稚部:身体計測 中学部:水早下校	
19	木	教育相談 小学部:IUI 中学部:百人一首大会	
20	金	小6:校外学習 中・高:英検(一次)、14:30下校	
21	土	高等部:全経社会人常識マナー検定 高1・2:ベネッセ模試	
22	日		
23	月	幼:保護者講座、誕生会	
24	火	幼:交流、入学調査予備 小:カルタ取り大会(予備31日)	
25	水	高:入学検査(在校生は自宅学習)(予備:31日)	
26	木	臨床相談 教育相談 小:IUI 小6:ふれあいコンサート	
27	金	中・高:書写検定	
28	土		
29	日	高等部:全商情報処理検定	
30	月	歯科巡回指導 幼稚部:まめまき	PTAスワッグ講習会
31	火	幼稚部:諸検査	
		2月の行事	PTA関係
1	水	歯科巡回指導 高3:後期末試験(~3日)	
2	木	教育相談 幼稚部:交流 中・高:読字力検定	
3	金		
4	土	高2:大学共通テスト模試	
5	日		
6	月	幼:外部交流日 小:IUI 高3:個人面談週間(~10日)	
7	火	小学部:入学説明会 中学部:後期期末試験(~8日)	
8	水	中学部:水早下校	
9	木	教育相談 臨床相談 幼稚部:交流	
10	金	小学部:保護者講座 高等部:合格発表	

## お知らせ

いよいよ明日から冬休みです。年末やお正月を迎えるにあたって、各ご家庭でたくさんの行事が予定されていることと思います。この時期にしかできないことをたくさん経験し、この時期にしか出会うことの無いことばにたくさん触れてほしいと思っています。

どうぞ、良いお年をお迎えください。

○冬季休業中の12月27日(火)・28日(水)、及び1月4日(水)・5日(木)は本校閉庁日、また、12月29日(木)~1月3日(火)は、年末年始休業となっています。この期間は、電話応対等できなくなります。連絡が必要な場合は、学校代表アドレス [ysyokoro@edu.city.yokohama.jp](mailto:ysyokoro@edu.city.yokohama.jp) にメールを送ってくださるようお願いいたします。万が一、新型コロナウイルスに感染した場合や濃厚接触者となった場合には、必ずメールで連絡してください。よろしくお願いいたします。

